

## 会議・協議等記録簿

生涯学習課 生涯学習係

|     |  |    |                 |
|-----|--|----|-----------------|
| 会議名 | 令和3年度 第1回佐久市社会教育委員会会議  |    |                 |
| 日時  | 令和3年6月4日(金)<br>午前10時30分～午後12時10分   | 場所 | 市役所南棟3階<br>大会議室 |
| 出席者 | 社会教育委員10名(中澤功委員長、柳澤優子副委員長、井澤昭委員、井出眞一委員、畠山文雄委員、奥村繁子委員、原英正委員、小林一委員、依田元子委員、依田とく代委員) |    |                 |
|     | 教育長、社会教育部長、事務局5名(生涯学習課長、生涯学習係長、生涯学習係、社会教育指導員2名)                                  |    |                 |

### 令和3年度第1回佐久市社会教育委員会会議

進行：課長2まで  
委員長3から

○ 委嘱書の交付

1 開 会

- 2 あいさつ  
吉岡教育長  
中澤委員長

出席者自己紹介

3 付議事項

(1) 令和2年度 実績報告等

ア 令和2年度佐久市社会教育委員 活動実績について(資料1)

事務局 : 令和2年度佐久市社会教育委員会会議のほか、佐久地区社会教育委員連絡協議会・理事会、県連絡協議会・理事会、関東甲信越静及び全国の社会教育研究大会等が計画されていたが、新型コロナウイルス感染拡大の影響により多くが中止となった。開催されたものに関して、参加人数等は資料記載の通りである。

イ 令和2年度佐久市生涯学習関連講座・イベントの実績報告について  
(資料2・マナビィさく6月号)

事務局 : 社会教育部のみでなく、様々な部署が企画した生涯学習に関わる講座・イベントについて令和2年度の実績をまとめたものである。新型

コロナウイルス感染拡大の影響により中止・延期となったものも多いが、開催されたものに関しては、人数を制限する等様々な工夫を重ね実施された。また、生涯学習関連講座・イベントに関する情報をまとめた掲示物「マナビィさく」を毎月作成し、市内各公共施設に掲示、HPやSNSに掲載しPRに努めた。

#### ウ 令和2年度社会教育関係団体への補助金交付実績について（資料3）

- 事務局 : 令和2年度社会教育関係団体への補助金交付実績について資料3にまとめた。新型コロナウイルス感染拡大の影響で中止となった事業に対しては、補助金は交付されなかった。
- 委員 : 北相木村など佐久地区の町や村などの社会教育事業を知る機会がなくなってしまったのが残念。規模が小さいながらも、非常に輝くものがあり、そこから学ぶことは多い。そういった事業を紹介してもらえれば機会があるとよい。また、資料から、離乳食教室は参加者が多く、需要が高いことがわかる（資料2の4ページ）。こうした子育て支援の取り組みは評価するべき。口腔歯科に関する事業も盛んであり、健康と向き合う佐久市の特性が表れているように思う（資料2の5ページ）。障がい者向けの事業に力を入れている部分も注目したい（資料2の8～9ページ）。ぜひ継続して欲しい。児童館での事業がこんなに多彩であることにも驚いた（資料2の10～11ページ）。若い子育て世代の方々が盛んに情報交換できるのは良いことである。高齢者向け健康事業についても盛んであり、自分も高齢者の一人として大事にしているように感じる（資料2の13ページ～）。
- 委員 : 令和2年度はコロナ渦で、中止、延期、開催形式の変更など、様々な事業に対し工夫がされたことが分かる。質問であるが、資料3のスポーツ振興補助金に関して、どの項目も前年度の決算額を受け、翌年同程度の予算額がとられているように見えるが、令和元年度の決算額が72,000円であるのに対し、令和2年度の予算額が2,700,000円と大幅に拡充しているのはなぜか。令和2年度は何かを使用することを期待してこの予算額なのか。
- 事務局 : 令和2年に県立武道館が完成したが、市内のスポーツ少年団などが武道館を利用した場合、使用料が免除になるか否か定かではなかったため、使用料補助として予算を確保していた。実際には免除になったため、決算額は大幅に減少している。
- 委員長 : 先ほどの北相木村の話だが、北相木村での山村留学事業の発表を聞いた。塾の塾長が山村留学に大変関心をもっており、参加人数、希望者も増えつつある。また、受け入れる側も喜んでいるようだ。子供たち

の体験発表には感動した。村をあげて取り組んだことの成果が出ている。また新たな情報が入り次第、紹介していく。

委員 : 資料2は膨大な量であるが、これは社会教育部管轄の施設を使用している事業ということでまとめているのか。

事務局 : 生涯学習に関わるイベント情報を各所管課から集め、まとめている。開催会場基準ではない。

委員 : 例年は社会教育部が実施した生涯学習関連事業の報告のみであったのに対し、今回からすべての課等が実施した生涯学習関連事業の報告に変わったのはなぜか。

事務局 : 今回の生涯学習関連講座・イベントの資料は、これまで生涯学習懇話会で報告してきたものである。佐久市では、社会教育部のみならず、様々な課が生涯学習に関わる事業を幅広く実施しており、その全体像を見てもらった方がよいと考え今回の資料とした。

## (2) 令和3年度 事業計画等

### ア 令和3年度佐久市社会教育委員 活動事業計画等について (資料4)

事務局 : 令和3年度佐久市社会教育委員会議のほか、佐久地区社会教育委員連絡協議会・理事会、県連絡協議会・理事会、関東甲信越静及び全国の社会教育研究大会等の計画である。社会教育委員会議の開催の仕方や時期については、委員の方の希望を伺いながら調整していきたい。ただ、一旦6月30日で現在の任期が終わり、また7月より新しい任期が始まるため、7月下旬には次回の社会教育委員会議を開催したいと考えている。

委員長 : 付け加えて、佐久地区の総会については6月25日、県の総会については6月16日にリモートで開催されることが決定している旨をご承知おきいただきたい。

### イ 佐久市の教育ビジョンと社会教育部関係事務について (資料5～11)

副委員長 : 社会教育部重点施策の東京オリンピック・パラリンピック関連事業について、エストニア共和国のホストタウンとして、選手の事前合宿をサポートするとあるが、選手の合宿、練習場所は既に決定しているのか。(資料11の11ページ) 市民としてもサポートできることがあれば参加したいが、そういった募集はあるのか。

事務局 : 未決定の部分もあるが、新型コロナウイルス感染対策もあり、選手と

市民の接触は難しいと思われる。

委員 : スポーツ交流イベントの開催も難しいのか。

事務局 : 新型コロナウイルス感染が収束しない限りは、難しいと思われる。オンラインでできること等、スポーツ課で検討しているが、何か行動することで選手にリスクを負わせてしまう部分もある。

#### ウ 令和3年度佐久市生涯学習関連講座・イベントの概要について(資料12)

事務局 : 資料12は、市の様々な部署等で計画されている生涯学習に関わるイベントをまとめたものである。これを基に先ほど紹介した「マナビィさく」を作成し市民の方へPRしている。

委員 : 生涯学習機会情報誌「マナビィさく」の感想なのだが、どこで何が開催されるのかが非常に見づらい。ジャンル別にまとめるより、開催地区・会場ごとにまとまっている方が、自分が参加しやすい事業を探しやすい。

事務局 : マナビィのリニューアルについてはまさに検討中であり、情報を求める人へ、必要な情報を届けられるように工夫していきたい。日付順にまとめるか開催場所順にまとめるか、何が最も見やすいのか苦心している。

委員 : 佐久市全体の情報がジャンルごとに掲載されているが、まずは地元で開催されるものが何なのか知りたい。

委員長 : 「マナビィさく」はどこで配られているのか。

事務局 : 配布ではなく、ポスター形式で大判に印刷し市内各公共施設に掲示している。また、市HPにも掲載している。大判のため、掲示にスペースが必要であり、掲示場所が制限されることにも悩んでいる。

委員 : 市内各公共施設への掲示だと、その場へ行かねば見ることができない。コロナウイルス感染症の影響で外出を控えている子育て世代へは情報が届かない。一方で、インターネットで情報共有する機会が増えているため、もっとインターネットを活用してほしい。子育てコミュニティーを形成できるような媒体が欲しいという意見が多く聞かれる。また、佐久市のHPは、情報が多すぎて非常に見づらく、欲しい情報にたどり着けない。市HPよりもSNSの方が簡潔で、また欲しい情報をタイムリーに入手できると思うので、SNSを積極的に活用すべきではないか。

委員長 : 市のHPで「生涯学習」と検索すれば、生涯学習関連事業やイベントがすべて出てくるといったような仕組みが欲しい。

事務局 : あまりに情報量が多いと埋没してしまうため、工夫が必要である。意見を参考にし、改善していきたい。

委員長 : HPや「マナビィさく」も、情報量が多くなり過ぎると逆に見づらいという点は確かにあるが、一つの課で、市全体の生涯学習関連事業・イベントの情報を揃えているという点は評価したい。何とかこれらの情報を届けられるように皆で考えていきたい。

#### エ 令和3年度社会教育関係団体への補助金交付について（資料13）

事務局 : 資料13は、令和3年度の補助金交付計画である。団体からの申請に応じて交付するものである。

委員 : スポーツ振興補助金について、令和2年度の決算額に対し、令和3年度の予算額が多いのはなぜか。

事務局 : 例年通りの予算額である。補助金なので、申請がない場合は交付されないため、決算額と差が生じる。

#### (3) 社会教育委員だより「そよかぜ」5号について（資料14）

事務局 : 委員3名に原稿を依頼し、社会教育委員だより「そよかぜ」第5号を作成した。校正箇所があればご指摘いただきたい。また、次号に関しては、7月開催予定の社会教育委員会議で内容等について具体的に話し合いたいと考えている。

委員長 : 訂正等なければ、これで第5号を発行したい。

事務局 : 発行後は、委員長に県等の会議などへ持ち込んでいただきたい。

#### (4) その他

副委員長 : 文化事業団のランチタイムコンサート（資料12の35ページ）についてPRしたい。令和元年東日本台風災害で被害を受けたコスモホールが、徐々に利用再開できるようになってきた。無料の企画も多くあるので、ぜひ参加して欲しい。

- 委員長 : 社会教育委員会議の今後の在り方や新しい企画について、何か希望や意見はあるか。視察へ行く、講師を呼ぶ、懇話会でのアンケートを活用するなど、何かやりたいことはないか。
- 委員 : もし何か企画するのであれば、コロナ感染への対策をきちんと行わなければならない。準備片付けまで皆一緒に参加できる形式がよい。
- 事務局 : 大規模な講演会や遠方への視察などは難しいと思う。例えば、市内や佐久地区内の施設を見学する等はいかがか。
- 委員長 : 実際目にすると地域への愛情も育つ。
- 委員 : 過去の社会教育委員会議では、全く発言しないこともあった。しかし、現在は発言しやすい雰囲気があり、議論が活発に行われている。社会教育委員会議の変化を感じる。今後も皆で情報を共有し、悩み、話し合っていける家族のような社会教育委員会議であればいいと思う。新しい企画に関しては、折角現役の校長先生が委員の中におられるので、学校現場の現状や子どもたちの地域での活動を知りたい。また、社会教育指導員の活動を紹介する「社会教育指導員の部屋」も社会教育指導員の活動成果が可視化されて良い。
- 事務局 : 「社会教育指導員の部屋」の発行により、社会教育指導員の活動の成果報告の場ができ、魅力を発信する機会ができた。本日配布したものは抜粋であるため、ぜひHPで完全版をご覧ください。

#### 4 閉 会